

Hitachi Young Networking 活用事例（会社訪問記）

いつも日立ITユーザ会活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、「第1回 Hitachi Young Networking」及び「振り返りの会」にて学んでいただきました内容を社内で発表されるということでアイエックス・ナレッジ株式会社様にお伺いしてきましたのでご報告いたします。

- 訪問先：アイエックス・ナレッジ株式会社
- 訪問日：2017年3月24日(金)
- 会議名：研修内容発表会
- 主催：西川遼様、中村瑞樹様、小野口仁様（写真並び順）



- 参加メンバー：品質ソリューション事業部 コンサルティングビジネス部長井上 誠様 他6名

■内容：

- ・若手交流会 Hitachi Young Networking の紹介
- ・プロフィール診断
- ・アイデア創出ツールの紹介
- ・グループワーク

テーマ例：快適なお花見、斬新なお花見
宅配の再配達問題を解決する



■上長所感

（グループワークの様子）

- 和田様：より現実的な解を求めるなら、フォースフィールド法(*)かマトリクス法(*)がよい。
実務にはこちらのほうがよいのでは。残りのウィッシュリスト法・類推法は、希望的な解を求めるのに適していると感じた。局面によって使い分けることが重要。
- 井上様：自身の性格や、取り組むテーマによってやり易さが違ってくる。ウィッシュリスト法(*)は、一旦現実から離れての思考。アイデアを考えるフレームとしては面白いと感じた。

(*)アイデア創出のための4つのフレームワーク

- フォースフィールド法：プラス面マイナス面で作用している影響力からの発想法
- マトリクス法：望ましい結果に影響を与える要因、要素の組み合わせからの発想法
- ウィッシュリスト法：最も理想的な結果を実現するための解決策からの発想法
- 類推法：あるシンボルを設定し、そのシンボルの特徴から類推していく発想法

■事務局所感

まずは、研修本番、さらに振り返りの会まで3名の方を選出いただきました教育担当者に御礼を申し上げます。発表会では、西川様、中村様、小野口様が研修内容をご自身のものとして完璧に習得されているとともに、それを社内メンバーへレクチャーされていることに大変感動いたしました。

また、グループワーク時のファシリテーターとしての言動は、まるで本番の講師がそこにいるかのようで、上手に参加者の意見を引き出されていました。参加メンバーの皆様も、積極的に意見交換をされていて社内の風通しの良さも垣間見ることができました。

最後に、Hitachi Young Networking が、参加者の「プレゼンテーション」や「ファシリテーション」の能力向上の一助となっていれば幸いです。今後も本研修を人材育成に活用いただけますよう宜しくお願い致します。

以上